

指導教員名	前川 明
-------	------

活動区分	商品開発型	連携先	企業

～ セクスイ豊「MIGUSA」の新用途展開や販売プロモーション提案 ～

活動の様子



キックオフ①

キックオフ②

中間発表①

企画・活動概要

流通科学大学の前川ゼミと武庫川女子大学の井口ゼミが、積水成型工業株式会社と連携して行う2大学合同の共創プロジェクトです。セクスイ独自の量販『MIGUSA』の素材を使用した新商品・新サービスの開発に挑みました。2025年2月のキックオフ(本社見学・合同ワーク)から始まり、2025年6月の中間発表を経て、2025年8月には同社経営陣に対して各チームが考案したビジネスプランの最終発表を行いました。



中間発表②

経緯・背景・目的

「働くための能力を実践と経験から身につける」ことを目指す本ゼミの活動において、本学卒業生である積水成型工業の担当者からの連携依頼によりスタートしました。他大学(武庫川女子大)のゼミと合同で取り組むことで、学生同士が互いに良い刺激を与え合いながら、学生ならではの柔軟な発想で全く新しい製品やサービスを生み出すことを目的としています。



最終発表①

取り組む課題

セクスイの量販『MIGUSA』の特性(耐久性、耐水性、防汚性、抗菌性や豊富なカラーバリエーション)を最大限に生かした新製品・新サービスの考案です。単なるアイデア出しにとどまらず、市場分析、需要動向や競合の調査、売上目標の設定、販売シミュレーション、マーケティング戦略やプロモーションに至るまで、実現性の高いビジネスプランを組み立てることが求められました。



最終発表②

本学(学生)の役割

学生ならではの自由で柔軟な視点を活かし、企業側では思いつかないような斬新な新製品・サービスのアイデアを創出することが最大の役割です。また、自ら市場調査やデータ分析を行って企画の根拠を提示し、企業担当者からの厳しい指摘やアドバイスを真摯に受け止めて提案をブラッシュアップし、最終的に経営陣に対して説得力のあるプレゼンテーションを行うことも担いました。



最終発表③

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

商品企画はアイデアが形になる楽しさが注目されがちですが、学生たちは『MIGUSA』の特性を活かした新製品について、コストや販売ターゲット、製造方法など多様な条件を考慮し、試行錯誤を重ねて生み出す「難しさ」を経験しました。厳しい指摘を乗り越え、経営陣へプレゼンを行うまでに至り、具体的には緻密な市場調査能力やコスト意識、そしてチームで協働して実現性の高い企画を組み立てる力が大きく向上した点が、今回の成果であり学生の成長です。



最終発表④

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
人間健康学科
准教授
前川 明 (マエカワ アキラ)
<専門・担当科目等>
キャリア教育、キャリアデザイン、就職支援

<関係者・企業等>

積水成型工業株式会社
機能成型品事業部
谷川さま・上乾さま (タニガワ・ウエイヌイ)